

新約聖書の中の祈り⑬

熊本聖書フォーラム

2020年12月13日

出典：MBS147 “Prayer in New Testament History” Arnold G. Fruchtenbaum, TH.M., PH.D.

「新約聖書の中の祈り」のアウトライン

1. イエスの祈り（22の事例）
2. 福音書における他の祈り（4の事例）
3. 使徒の働きにおける祈り（27の事例）
4. 書簡における祈り

本日は、使徒の働きにおける祈り（第15～17）

15-1 ヨッファでのペテロの祈り P.1

使10：9 ペテロは祈るために屋上に上った。

- ① この人たち=コルネリウスの使いの者たちが
ヤッファの町に近づいていたころ
- ② 日に3度、時刻を決めての祈り。正午の祈り
- ③ 祈りの内容は記事なし
定型的な祈りであったろう

15-2 ヨッファでのペテロの祈り P.1

使10：10～16

- ① 神はペテロに空腹を感じさせ、幻を見せた
- ② 天が開き、大きな敷布のような入れ物が降りて来た。その中には、あらゆる動物や鳥
- ③ 神の声「屠って食べなさい」
- ④ ペテロ「主よ、そんなことはできません。きよくない物や汚れた物は食べたことはありません」

15-2 ヨツファでのペテロの祈り P.1

使10：10～16

- ⑤ もう一度、神の声「神がきよめた物を、あなたがたがきよくないと言ってはならない」
- ⑥ このようなことが3回あって、その入れ物は天に引き上げられた

15-3 ヨツファでのペテロの祈り P.2

使10：17～23

- ペテロが幻について思い巡らしていると、コルネリウスからの使いの者たちが到着した。
- 御霊がペテロに語りかけて、彼の決断を促した。
- ペテロは、彼らを迎え入れて泊ませた。

16-1 異邦人信者の誕生

P.2

使10：30～31 午後三時の祈りをしていますと、

経緯 使10：23～33

- ① 23節 翌日、ペテロ一行が出発
- ② 24～29節 次の日の午後3時頃、カイサリアに到着。
コルネリウスがペテロを出迎えた
- ③ 30～33節 ペテロを招くに至った出来事の説明

16-2 異邦人信者の誕生

P.2

30節 私が家で午後三時の祈りをしていますと

直訳すると

「私は守っていた、第9時の祈りを、私の家で」
コルネリウスは、毎日、一定の時刻を定めて、
祈る習慣を持っていた

16-3 異邦人信者の誕生

P.2

30～33節

- ① 10：3～8の出来事を回想して、ペテロに説明
- ② 31節 「あなたの祈りは聞き入れられた」
その祈りとは、10：2に記された、コルネリウスが
普段から切に祈っていたことを指す
祈りの内容は記されていないが、
「イスラエルの神のことをもっと知りたい」との願い

16-4 異邦人信者の誕生

P.2

コルネリウスの願いに対する神の答え

- ペテロを招くように天使を通して告げる
- その二日後に、ペテロには幻を見せる
- ① ペテロに異邦人を訪問させるためには
- ② ユダヤ人的感覚を除くための幻
- ③ ペテロの理解 23節・28節

16-5 異邦人信者の誕生

P.3

- ① 33節 今、私たちはみな、主があなたにお命じになったすべてのことを伺おうとして、神の御前に出ております
- ② 34～43節 ペテロの証言
- ③ 44～46節 聞いていたすべての人々に聖霊が下った。彼らは異言を語り、神を賛美した。
- ④ 47～48節 洗礼

17-1 異邦人の救いが認知される P.3

使11：5 私はヤッファで祈っていました

経緯 使11：1～4

- ① 異邦人も神のことばを受け入れたとの知らせ
- ② ユダヤ人信者の中から、ペテロへの非難
- ③ ペテロは、事の次第を順序立てて説明

17-2 異邦人の救いが認知される P.3

使11：5～17 ペテロの説明

- ① 5～10節 ヤッファで祈っていたときのこと
- ② 11～12節 幻を通して神から教えられたこと
- ③ 13～14節 コルネリウスから聞いたこと
- ④ 15～17節 コルネリウスたちに聖霊が下ったこと、「私たちに下さったのと同じ賜物」

17-3 異邦人の救いが認知される P.3-4

使11：18 ユダヤ人信者たちの反応

- ① 人々は、これを聞いて沈黙した
- ② そして、「それでは神は、いのちに至る悔い改めを異邦人にもお与えになったのだ」と言って
- ③ 神をほめたたえた

17-4 日々の祈りの重要性

P.4

- ① 異邦人の救いを計画されたのは、神
- ② 異邦人の救いの門を開いたのは、ペテロ
- ③ 神とペテロの働きを実行に動かしたのは、祈り
- ④ コルネリウスは祈りにより神を求め続けていた
- ⑤ ペテロは**日々の祈り**により霊的に整えられ、神のみこころを受け取ることができた

補足-1 聖霊を受けることと異言 P.4

使8：18 サマリアの信者たちが聖霊を受けたときに、目に見える、ある特別な状況が起きた

1. それは、異言（いげん）
2. 原文は「舌」、聖霊の賜物の一つで、本人が知らない他国のことばや天使のことばで語る
こと

補足－2 聖霊を受けることと異言 P.4

1回目 使2章 ユダヤ人信者たちに

1. 4節 御霊が語らせるままに、他国のいろいろなことばで話し始めた。
2. 13節 嘲り「ぶどう酒に酔っているのだ」
3. 11節 驚き「私たちのいろいろな国ことばで神の大きなみわざを語るのを聞こうとは」

補足－3 聖霊を受けることと異言 P.5

2回目 使8：17～18 サマリア人信者たちに

- 17節 使徒ペテロとヨハネが彼らの上に手を置くと、彼らは聖霊を受けた
- 18節 シモンは、使徒たちが手を置くことで聖霊が与えられるのを見て
- 目に見える何かが起きていた

補足－4 聖霊を受けることと異言 P.5

3回目 使10：44～48 異邦人信者たちに

1. コルネリウスと彼の親族や友人たち全員が、神のことばを聞いて信じたその瞬間に、聖霊を受けた
2. ペテロと同行のユダヤ人信者たちは、異邦人にも聖霊の賜物が注がれたことに驚いた
3. 46節「彼らが**異言を語り**、神を賛美するのを聞いたからである」

補足－5 聖霊を受けることと異言 P.5

3回ともペテロが関係、門を開く鍵

1. マタイ16：19 「天の御国の鍵」
2. マタイ10：5～6 異邦人、サマリア人、イスラエル → 当時のユダヤ人の認識 3区分
3. この区分のとおり、聖霊が与えられた
まず、ユダヤ人、次にサマリア人、そして異邦人

補足－5 聖霊を受けることと異言 P.5

4. 最初のユダヤ人のときに、異言の賜物→サマリア人にも、異邦人にも→分け隔てなく救いが与えられること、神がなされたことであることが明らか
5. この門はいったん開かれると閉じられることなし。その後は、民族を問わず、信じた瞬間に、聖霊を受ける（I コリ12：13）→もはや、異言の賜物をもって聖霊が下ったことを示す必要なし

補足－5 聖霊を受けることと異言 P.5

6. 異言の賜物は、他国のことばで語る→福音がユダヤ人に対してだけでなく、すべての国の人々に向けて語られるべきことを示す

結論：聖霊を受けることと異言を語ることがセット＝ユダヤ人・サマリア人・異邦人、それぞれに初めて聖霊が与えられるとき**限定**

それ以降は、すべての信者は信じた時に聖霊を受ける。そして、そのときに異言を伴う必要は、ない